

環境調査結果のお知らせ

令和元年6月6日午前10時から野見・須崎湾の環境調査を行いましたので、結果をお知らせします。

概況

湾内の環境は、水温21～24℃、塩分33～35、溶存酸素量7～9mg/lでした。
透明度は4～5mで、有害種のカレニア・ミキモイとケラチウムが確認されました。

水温と塩分(表1・2)

湾内の環境は、水温21.2～23.9℃、塩分32.6～34.6でした。前回調査時(R1.5.29)と比較して、水温は全層で0.7～1.3℃上昇しました。塩分は表層から2m層で0.2～0.5上昇し、5m層から底層で0.2～0.4下降しました。

溶存酸素量(表3)

溶存酸素量7.1～8.5mg/lでした。
前回調査時(R1.5.29)と比較して、表層で0.2mg/l減少し、2m層から底層で0.1～0.8mg/l上昇しました。

プランクトン(表4・5)

透明度は3.5～5.0mでした。
検鏡の結果、有害種のカレニア・ミキモイが最高で1cell/ml、ケラチウム属が最高で3cells/ml確認されました。

海や養殖魚の状態に変化や不安を感じた時は、よく洗ったペットボトルなどに海水を採取して、中央漁業指導所または水産試験場までご連絡ください。

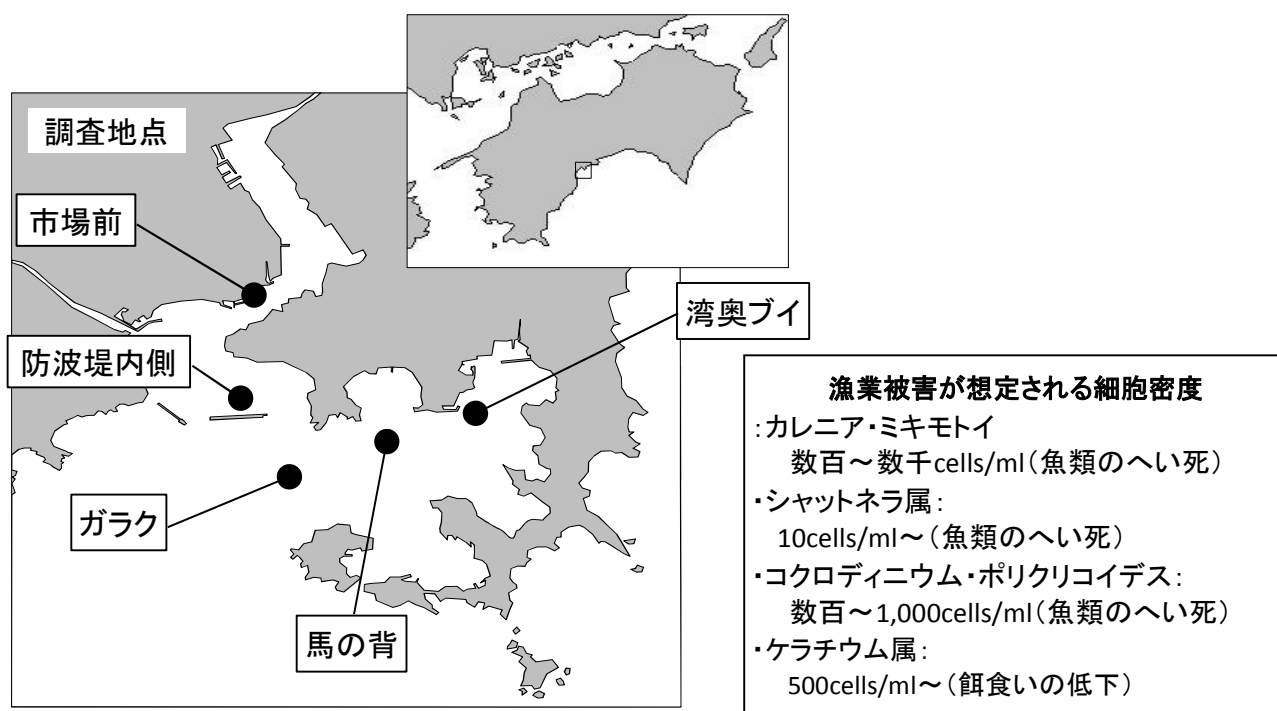


表1 水温(°C)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	漁場平均※	前回調査(R1.5.29)		市場前
						漁場平均※	前回との差 今回-前回	
0m	23.6	23.9	23.8	23.4	23.7	22.4	1.3	24.1
2m	23.4	23.3	23.3	23.3	23.3	22.1	1.2	23.4
5m	22.6	23.1	22.7	22.7	22.8	21.5	1.3	22.6
10m	21.8	22.1	22.2	22.1	22.0	21.2	0.8	—
B-1m	21.3	21.2	22.0	21.5	21.5	20.8	0.7	21.9

表2 塩分

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	漁場平均※	前回調査(R1.5.29)		市場前
						漁場平均※	前回との差 今回-前回	
0m	33.6	33.7	33.7	32.6	33.7	33.2	0.5	31.4
2m	33.7	33.8	33.8	33.2	33.8	33.6	0.2	32.7
5m	33.9	33.9	33.9	33.7	33.9	34.1	▲ 0.2	33.7
10m	34.3	34.1	34.0	34.0	34.1	34.5	▲ 0.4	—
B-1m	34.5	34.6	34.2	34.4	34.4	34.6	▲ 0.2	34.0

表3 溶存酸素量(mg/l)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	漁場平均※	前回調査(R1.5.29)		市場前
						漁場平均※	前回との差 今回-前回	
0m	8.3	7.9	7.9	8.3	8.0	8.2	▲ 0.2	8.4
2m	8.5	8.1	7.7	8.5	8.1	8.0	0.1	8.3
5m	8.4	7.4	7.6	8.3	7.8	7.5	0.3	8.0
10m	7.4	7.4	7.7	7.9	7.5	7.0	0.5	—
B-1m	7.2	7.1	7.4	7.4	7.3	6.5	0.8	6.5

※湾奥ブイ・馬の背・ガラクの平均値

表4 水深・透明度(m)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	市場前
水深	16.9	23.4	15.4	15.3	11.2
透明度	5.0	4.0	3.5	4.5	2.5
前回(5/29)	3.0	5.0	5.0	3.0	2.5

表5 プランクトン(cells/ml)

		カレニア・ ミキモトイ	シヤットネラ属	コクロディニウム・ ポリクリコイデス	ケラチウム属	珪藻類
湾奥ブイ	0m	0	0	0	0	25
	2m	0	0	0	0	10
	5m	0	0	0	0	5
馬の背	0m	0	0	0	0	70
	2m	1	0	0	1	90
	5m	0	0	0	0	70
ガラク	0m	0	0	0	0	120
	2m	0	0	0	0	85
	5m	0	0	0	3	75
津波防波堤 内側	0m	0	0	0	0	120
	2m	0	0	0	0	50
	5m	0	0	0	1	150
市場前	0m	0	0	0	0	80
	2m	0	0	0	0	70
	5m	0	0	0	0	70